



九六歸写  
星龍

青鳥

三々一田  
三々一田

種草の市に出たりて草のする鳥を

おとすくハ辰川せし折石 五右

たけ角の終らうとく根の 三省

そよのそめり峰城さる 女 せい

勝おねびり輝きす 里東

の日はあはきまつく日る 保順

世のつらき思ハ風の柳か 俊雅

くくくく引 三々 稚子の声 貫露

梅の香ね花の枝を解 利壁

字様よ入あましく 素樹

いしけやあこもそ 是露

折る風情 也

田も知くそ月半也 五束

道くあまらり

